健診・人間ドック
検査結果の手引き

判定の説明

緊急度の高い順です

D2	要精密検査	さらに詳しい検査が必要と考えます。医療機関でご相談ください。
D1	要治療	治療が必要と思われる異常を認めます。医療機関でご相談ください。
E	治療中	主治医の指示に従い、治療を継続してください。
C	経過観察	１年後ないし、指示された時期に再検査を受け、経過を見てください。
B	軽度異常	軽度の所見を認めますが、健康上で特に問題となる異常はありません。生活習慣の見直しをするきっかけにしてください。
A	異常なし	今回の検査の範囲では異常を認めません。１回の健診結果を過信せず、定期的に健診を受けることが必要です。

今回の判定で D2 D1 の判定があった方は ...

- 必ず治療・精密検査を受けてください。症状がなくても、大きな病気が潜んでいることもあります。
- 健診で異常を指摘されなくても、症状がある時は医療機関でご相談ください。

※ 当施設（西広島リハビリテーション病院・ウィル）では、二次検査は受け付けておりません。ご了承ください。

医療法人社団 朋和会
西広島リハビリテーション病院

WILL ウェルネット健康開発センター ウィル

〒731-5143 広島市佐伯区三宅６丁目 265 番地
TEL (082) 924-1116 ㈹　FAX (082) 921-9314 ㈹
お問い合わせ時間　平日 13:00 ～ 16:00

※ 結果についてのお問い合わせは、ご本人さまに限り（個人情報保護のため）対応させていただきます。

※ ［　　］の検査は 2021 年度より基準値が変更しています。

●血圧：最大 139→129mmHg 以下 / 最小 89→84mmHg 以下　●空腹時血糖（随時血糖）：基準値 65 ～ 109→99mg/dl 以下
●ヘモグロビン A1c　：基準値 5.9→5.5% 以下

身体計測	BMI	BMI（ボディ・マス・インデックス）は、肥満度を判定する指数です。 BMI＝体重（Kg）÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m) BMI が 25.0 以上で肥満となります。	
	腹囲	内臓脂肪の蓄積の程度がわかります。 基準値　男性：85cm 未満　女性：90cm 未満	
血圧	血圧	高血圧・低血圧を判定する検査です。 高血圧を放置しておくと、血管に負担がかかり、動脈硬化が進みます。 脳卒中・心臓病・腎臓病などの病気のひきがねになります。	
心電図	心電図	安静時心電図。安静にした状態で、リズムの乱れ（不整脈）や心筋の異常・心臓の病気を調べる検査です。	
呼吸器	胸部 X 線	肺や心臓の病気（肺がん、肺炎、心臓肥大など）を調べる検査です。	
	胸部 CT	胸部全体を細かく、らせん状に断層撮影する検査です。胸部 X 線検査では影が重なり見えにくい部分も調べることができます。	
肺機能	肺機能検査	肺の換気機能の程度を調べる検査です。 喫煙や気管支喘息などの病気で低下します。	
消化管	X 線	バリウムを飲んで、上部消化管（食道・胃・十二指腸）の病気を調べる検査です。	
	内視鏡	レンズを通して、胃粘膜を直接観察する検査です。 ポリープなどがあれば、組織を採って調べることができます。	
便	便潜血	腸からの出血を調べる検査です。大腸ポリープ、大腸がんなどの発見に役立ちます。痔や月経時でも陽性（+）になる事があります。	
超音波	腹部	腹部に超音波をあてて、肝臓・腎臓・膵臓・胆嚢・脾臓などの形態や異常の有無を調べる検査です。肺や腸の影響により描出不良になることもあります。	
	頸動脈	頸部に超音波をあてて、動脈硬化を調べる検査です。	
眼科	眼圧	眼球の固さを測定して、眼球の内圧の変化を調べます。緑内障の発見に有効です。	
	眼底	眼の奥の血管を観察し、糖尿病網膜症や、正常眼圧緑内障の手がかりとします。	
聴力	聴力検査	低音域（1,000ヘルツ）と高音域（4,000ヘルツ）の検査をします。難聴の有無がわかります。	
腫瘍マーカー	CEA	がん発見の補助手段として利用します。 喫煙や炎症によっても基準値を超えることがあります。 この検査だけでがんの診断はできません。	大腸・胃・肺などのがん
	AFP		肝臓がん・肝硬変・肝炎など
	CA19-9		膵臓・胆嚢などのがん・胆石症・膵炎など
	PSA（男性のみ）		前立腺の病気（前立腺がん・前立腺肥大など）
	シフラ（サイトケラチン 19 フラグメント）		肺がん（扁平上皮がん・腺がん）など
	CA125（女性向け）		卵巣がん・卵巣の良性腫瘍・子宮内膜症など

- AST（GOT）　：基準値 35→30U/l 以下
- ALT（GPT）　：基準値 40→30U/l 以下
- γ-GTP　　：基準値 55→50U/l 以下　へ変更

脂質	HDLコレステロール	善玉コレステロール。余分なコレステロールを回収し、動脈硬化を防ぎます。
	LDLコレステロール	悪玉コレステロール。高いと血管がつまったり、固くなって動脈硬化を引き起こす原因になります。
	Non-HDL コレステロール	Non-HDL コレステロール＝総コレステロール - HDL コレステロール 基準値：90 ～ 149mg/dl 高いと動脈硬化をひき起こしたり、促進させたりする原因になります。
	中性脂肪	食べ過ぎや飲みすぎで増加します。高いと動脈硬化・心臓病・脳卒中を発症する確率が高くなります。
糖尿病	空腹時血糖（随時血糖）	糖尿病の発見の手がかりとなります。高いと糖尿病の疑いがあります。
	ヘモグロビンA1c	過去１～２か月の血糖の平均値を反映します。糖尿病で高くなります。
	尿糖	陽性の場合、糖尿病などの疑いがあります。
痛風	尿酸	高いと痛風の原因になります。腎臓や尿管の結石の原因にもなります。
肝機能	AST(GOT) ALT(GPT)	肝臓や心臓に多く含まれる酵素です。肝障害があると値が上がります。 肝炎・肝硬変・肝がんなどで上昇します。
	γ-GTP	アルコール性肝障害を発見する手がかりとなります。過度の飲酒や胆道系疾患、肝炎、肝硬変、肝がんなどにより値が上昇します。
	総蛋白・アルブミン	血清中に含まれている蛋白の総称です。低いときは栄養不良・肝臓障害が疑われます。
	HBs 抗原 HBs 抗体 HCV 抗体	B 型・C 型肝炎のウイルス感染の有無を調べる検査です。 HBs 抗体陽性（＋）の場合は、B 型肝炎 ウイルスへの免疫ができていることを示します。HBs 抗原・HCV 抗体陽性（＋）の場合は、各々のウイルスに感染していると考えられるため、消化器内科を受診してください。
膵	血清アミラーゼ	糖分解酵素です。膵臓や唾液腺の疾患などで、異常値を示します。
腎機能	尿素窒素	腎臓の機能が正常かどうかを知るための重要な指標となります。腎障害、消化管出血、脱水などで上昇します。栄養不足、肝不全などで低下します。
	クレアチニン	高いと腎機能障害の疑いがあります。
	eGFR	クレアチニンの測定値をもとに年齢・性別から推算し、腎臓が老廃物を排泄する能力を調べます。低いと腎機能障害の疑いがあります。
血液一般	白血球数	白血球には、体の中に細菌やウイルスが侵入してくるのを防ぐ働きがあります。多いと感染の疑いがあります。
	赤血球数 ヘモグロビン ヘマトクリット	血液の濃さをあらわします。 貧血で減少し、多血症・脱水症などで増加します。
	血小板数	出血を止める働きがありますが、多すぎても少なすぎても出血しやすくなります。骨髄疾患や免疫異常など様々な疾患で異常値を示します。
血清反応	CRP	感染症の経過を見るのに効果的な検査です。 炎症が起きると高値を示します。

乳がん検査

マンモグラフィ

X 線による乳がんの検査です。専用の機械で乳房を挟んで撮影します。視触診では分からない小さな病変でも検出できます。

乳房超音波検査

マンモグラフィでは観察しづらい乳腺密度の高い乳房（高濃度乳房）の検査に役立ちます。高濃度乳房は若年世代（40 歳未満）に多くみられます。

セルフチェックしてみましょう！

- 月に 1 度
- 生理が終わって 4 ～ 5 日後に
- 閉経後は日にちを決めて

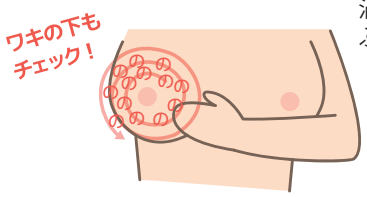
1 見てチェック

- くぼみ・ふくらみ
- ただれ・変色
- ひきつれ はありませんか？

2 さわってチェック

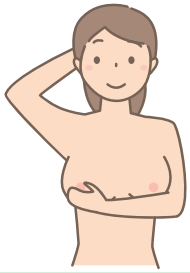
- しこり はありませんか？

10 円玉大の「の」を描くように指の腹をすべらせ、乳頭周辺から外側に向かって渦巻き状にふれましょう。



3 つまんでチェック

- 分泌物 は出ませんか？



何らかの変化に気づいたら医療機関で検査を受けましょう！

子宮がん検査

内診

子宮や卵巣を視診・触診で調べる検査です。

頸部細胞診

子宮頸部の細胞を採取し、顕微鏡で異常の有無を調べる検査です。

ベセスダ分類	所見	検診後の対応
NILM	正常な細胞のみ	現在、正常範囲ですが、定期検診で様子をみてください。
ASC-US	異形成と言いきれないが細胞に変化がある	再検査もしくは精密検査が必要です。 専門医（産婦人科）を受診し、ご相談ください。
ASC-H	高度な異型細胞の可能性があるが確定できない	
LSIL	HPV感染や軽度異形成と考えられる	
HSIL	中等度・高度異形成、上皮内癌などが疑われる	
SCC	明らかな扁平上皮癌と考えられる	

HPV 検査

子宮頸がんの原因となるハイリスク HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を調べる検査です。子宮頸部の細胞を採取して検査します。

（R4.3.1 作成）